

“お天気講座” 赤城資料

パノラマ図から赤城山の位置を把握

- ・ 赤城山のどちら側に海があるか？
- 赤城山はどういう風向、気圧配置のとき天気が崩れるか？
- ・ エアリアマップの裏側の大きな地図から赤城山の位置と周囲の山との関係を調べよう
 - ・ 2万5千分の1の地形図から尾根と谷を見つけて、登山路で風の影響をどのように受けるかをチェック

赤城山における注意点

- ・ 発達した低気圧が日本列島を通過しないか？
- ・ 冬型の気圧配置が強まり、等圧線が南北に立って込み合う
- ・ 500hPa で-36°C以下の寒気が南下してくるかどうか？

天気図1（登山前に入手できる最新の地上天気図）から読み取ること

- ・ 日本列島の気圧配置は？
- ・ 低気圧が日本付近にあるかどうか？
- ・ 大陸の高気圧の強さは？

天気図2、3（25日21時と26日21時の予想天気図）

※図1と比較してみよう

- ・ 寒冷前線の通過する時間帯は？
- ・ 寒冷前線が通過した後の気圧配置は？
- ・ 等圧線が日本付近で込み合ってるか？その向きは？
- ・ 赤城山で想定される天候を予想してみよう

天気図4、5（25日9時～26日21時までの500hPa気温予想図）

※500hPaで-30°C線、-36°C線をトレースしてみよう。

- ・ それらの動きをしてみる。
- ・ -36°C線が北陸地方にかかったら要注意。

株式会社ヤマテン
猪熊隆之